

令和3年6月

関係各位

2021年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

開催のお知らせ

建設マネジメント委員会

土木学会 建設マネジメント委員会（委員長 堀田 昌英）では、多数の研究小委員会（2021年度：11テーマ）を設け、建設マネジメントに関する研究活動を実施しております。これらの研究成果を広く社会に還元するため、本年も表彰式と併せて研究成果発表会を開催します。貴組織の関係者の皆様にもご案内いただければ幸いです。また今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン会議ツール「ZOOM（ウェビナー）」を利用して開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。なお、本発表会は「土木学会認定CPDプログラム」として申請中です。

行 事 名：2021年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

行事コード：452103

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：令和3年7月15日（木）13:00～16:10（終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：オンライン開催

（※アクセスに必要なURL等は、開催日前日に、参加申込み者宛にメールにてご案内）

参 加 費：無 料

定 員：400名（申込先着順）

申 込 方 法：土木学会行事のHP (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) からお申し込み下さい。

申込締切日：令和3年7月12日（月）

問 合 先：（公社）土木学会 研究事業課 建設マネジメント委員会担当：桃井

E-mail：momoi@jsce.or.jp

詳 細：発表会プログラムは次頁以降参照。

2021 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会及び表彰式

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：令和3年7月15日（木） 13：00～16：10 （終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：オンライン開催

プログラム

【開会】

13:00～13:10 開会の挨拶 : 建設マネジメント委員会 堀田 昌英 委員長

【表彰式】

13:10～14:00 表彰発表：表彰小委員会 金子 雄一郎 小委員長
表彰状授与：建設マネジメント委員会 堀田 昌英 委員長
論文賞/論文奨励賞 受賞論文概要紹介
グッド・プラクティス賞 概要紹介
優秀講演賞 受賞者紹介

14:00～14:15 休 憩

【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。
※時間に質疑5分程度を含みます。

14:15～14:45 (30分) テーマ『公共工事の価格決定構造の転換にむけた取組について』

《テーマのポイント》

積算基準を拠り所とせず、健全な競争入札により価格が決まり、技術者・技能者に適正な賃金が支払われ、技術開発意欲が湧く調達の実現を目指す。

《発表内容》

1. 公共工事の価格決定構造の課題と研究目的

- (1) わが国の公共工事は、発注者側積算をベースとした予定価格の上限拘束等により受注価格が決まり、重層的な下請契約を経て労務賃金が決まるといふ、上流から下流へ価格が決まる価格決定構造がある。
- (2) 技術者・技能者に適正な対価が支払われない、技術開発意欲を増進する調達の実現されていない等の問題がある。
- (3) 健全な競争環境を醸成し、不調不落や担い手不足の解消につながり、企業の技術開発の促進と、公共工事の品質確保と生産性向上に資する制度の実現を目指す。

2. 研究成果と今後の研究方針

- (1) 建設会社における応札価格の価格決定について（事例紹介）
- (2) 防衛装備庁における調達について
- (3) 工事日報等を用いた価格決定構造の転換に向けた試行について
- (4) 今後の研究方針について 等

《研究小委員会名》 公共工事の価格決定構造の転換に関する研究小委員会（第1種）

《発表者》 木下誠也（日本大学）、関健太郎（国土交通省）

14:45～15:10 (25分) テーマ『公共調達における事業手法の選択基準としてのVFMとその展開』

《テーマのポイント》

- ・公共サービス提供事業をマネジメントするためのVFM
- ・VFMを高める公共サービス提供事業の展開方向

《発表内容》

インフラ事業などで公共調達手法を選択する際にはVFMが重要な指標となる。また、事業を進めていく段階においても、その価値を高めるマネジメントを進めるためにVFMをその指標として活用することも効果的であると考えられる、インフラ事業にPFI方式を導入した場合のVFMの源泉を整理し、事業の段階を追ってVFMを高めるマネジメント方法を検討した。そして、近年のさまざまな動向を踏まえ、VFMを意識した公共サービス提供事業の展開方向を考えることとしたい。

《研究小委員会名》 インフラ事業におけるPFI/PPP推進研究小委員会（第1種）

《発表者》 北詰恵一（関西大学）

15:10～15:20 休 憩

15:20～15:40 (20分) テーマ『自然災害による被害の最小化に向けた最適なマネジメント手法の研究』

《テーマのポイント》

自然災害による被害最小化のマネジメントについて、仮説を立て導き出す。また、人間の行動や心理からの課題についても問題提起した。

《発表内容》

首都直下地震や南海トラフ巨大地震等が近い将来高い確率で発生すると告げられている。また、気候変動による豪雨災害等、激甚な自然災害が今後も発生すると予測される。課題は大小様々な被害が後を絶たない現状にある。自然災害の未然防止は困難を極めるが、適切な手法を入れることにより現状よりも被害最小化の向上は図れるものとする。今回は被害最小化に効果的なマネジメント手法を解明することを目的に、自然災害や被害の現状・課題から考え方を示す。

ここでは、最適なマネジメント手法を探る方法として仮説を立てて進めてみた。まずは、有期性・独自性・段階的詳細化が特徴の手法であるプロジェクトマネジメントに対し、適切なマネジメントであるという仮説に基づき考えてみる。また、人間の行動や心理からの課題についても問題提起したい。

《研究小委員会名》 自然災害における被害最小化マネジメント研究小委員会（第2種）

《発表者》 下池 季樹（株式会社アジア共同設計コンサルタント）

15:40～16:00 (20分) テーマ『i-Con推進のための「実践的」な検討の視点と取り組み』

《テーマのポイント》

i-Con推進に向けての小委員会の検討の視点を「実感調査」、「実践活動」とし、活動方針、活動状況等を報告。

《発表内容》

- ・検討の視点
 - ・i-Conを建設分野の生産性向上、働き方改革に向けての広範な取り組みとして捉え、様々な機関（発注者）、企業、現場等の取り組みを実感調査。
 - ・技術者マインド等への働き掛け、推奨事例の普及等の実践活動を通じて、これらから得られるi-Con推進の課題を抽出する。
 - ・中小を含めた幅広い建設工事で活用可能な生産性向上方策に重点を置く。
- ・活動方針・状況
 - ・実感調査（フィールド調査、技術者ヒヤリング等）の状況報告。

《研究小委員会名》 実践的i-Con推進検討小委員会（第3種）

《発表者》 岡本博（日本道路交通情報センター）、木下賢司（株式会社熊谷組）

【閉会】

16:00～16:10 閉会の挨拶 : 運営小委員会 池田 裕二 小委員長